

知ってるだけで 味方になれる。 HTLV-1のこと。

日本でおおよそ82万人の方が
感染していると推定されるウイルス、
HTLV-1。

しかし、その存在は、
ほとんど知られていません。
感染力はとても弱く、
咳やくしゃみでは感染しません。
主な経路は、母子感染と性感染。
重要なのは、
当事者の周りの方が、
正しい知識と思いやりを持って
寄り添うこと。
大切な人のために、まず、
知ることから始めませんか。



HTLV-1は、正しい知識と対処で、
感染のリスクを大きく減らせます。

HTLV-1とは

ヒトT細胞白血病ウイルス1型 (HTLV-1: エイチ・ティー・エル・ブイ・ワン) は、

- 主に血液の一種であるリンパ球 (T細胞) などに感染します。
- 全国の感染者数は約71.6～82万人^{※1}と推定されています。
- 感染しても自覚症状がなく、数十年と潜伏期間が長いので、感染しているかどうかは検査をしないとわかりません。
- 感染者の約5%にHTLV-1関連疾患が発症することがあります。

※1 2017年の献血者の調査結果に基づく推定感染者数

HTLV-1の検査はどこで受けられますか

- 妊娠中の方は、妊娠30週までに行われる妊婦健診の中にHTLV-1に対する抗体の検査が組み込まれています。
- 保健所でHTLV-1に対する抗体の検査を実施しています。実施状況は地域、施設によって異なりますので、お住まいの地域の保健所にお問い合わせください。
- 医療機関でも検査が可能ですが、自費で行われる場合があります。詳しくは検査を希望する先の医療機関にお問い合わせください。

HTLV-1関連疾患とは

- HTLV-1関連疾患としては、主に3つ (血液、神経、眼の病気) が知られています。

血液の病気 成人T細胞白血病・リンパ腫 (ATL)

感染したリンパ球 (T細胞) ががん化する病気。感染者が生涯で発症する危険性は約5%。40歳をこえるまでATLはほとんど発症しない。治療法は骨髄移植などがある。

神経の病気 HTLV-1関連脊髄症 (HAM)

歩行障害や排尿障害を引き起こす脊髄の病気。感染者が生涯で発症する危険性は0.3%。

眼の病気 HTLV-1関連ぶどう膜炎 (HU)

眼球内のぶどう膜に炎症が起こり、視力が低下する病気。有病率としては、感染者の約0.1%にHUが認められる。薬による治療が可能。

